

「一番うまい酒は私のだ」

飛騨の渡辺酒造店
「アウトレイシュ」を企画



頒布会「アウトレイシュ」を企画した渡辺酒造店の皆さん＝飛騨市古川町老之町で

った北場広治さん(五〇)が手掛けたお酒を送る。北場さんは「おやっさん(岡田さん)に引導を渡すつもりだ」と出来映えに胸を張る。

「一番うまい酒を巡って、社内は『全面戦争』です。男たちの熱い戦いを楽しんで」と渡辺社長。頒布会は一万三千八百九十円(送料込み)。限定千五百口で、二月末までに同店☎電0120(359)352へ申し込む。(浜崎陽介)

渡辺酒造店(飛騨市古川町)は、社長や杜氏ら六人が手掛けた冷酒を飲み比べてもらう頒布会「アウトレイシュ」を企画した。人気映画のタイトルを借り、まるで任侠映画のようなユニークなポスターで「一番うまい酒は私のだ」とPRしている。

頒布会はセット商品を毎月届ける販売法。三、四、五月、今回の企画のために造った七百二十ミリ入り二本ずつ、計六本届ける。

三月は渡辺久憲社長(四七)が山田錦を使い、きれのある飲み口に仕上げた純米大吟醸酒「刃(ドス)」と、米国人の蔵人ダリル・コディーさん(四七)が飛騨の酒米でパワフルな味わいを出した生原酒「御意見無用!」。渡辺社長は「日米決戦でもある。どちらがおいしいか飲み比べを」と話す。

五月は新旧杜氏対決で、酒造歴が半世紀を超す岡田喜栄治さん(七〇)と、昨年杜氏にな